

新型スロープの不具合を改良したスロープが配備される。 不具合部分(ホーム側端部の角度)が改良される。

11月9日、新型スロープの不具合部分を改良したスロープが新大阪駅に配備されました。新型スロープは昨年6月に新幹線各駅に配備されましたが、スロープとホームの接する部分に角度があるため、車いすがスムーズに乗れない状態（ショックがある）が発生しました。車いすのお客様の膝の上に置いてあったペットボトルやお荷物がショックにより落下する事態も発生しています。



【上が改良前】 【下が改良後】

私たちは、新型スロープの不具合改善に向けて申し入れなどを行ってきました。そして、11月9日、新大阪駅にホーム側端部の具材を交換したスロープが配備されました。スロープのホーム側端部の角度は、以前と比べるとかなり改善されていますが、まだ完全にフラットにはなっていません。会社は「ホーム側端部の角度があるのは事実であるが、お客様が利用される車いすの大型化・重量化に対応するため耐久性を高め、安全性をさらに向上させるべく必要な補強措置を施したため厚みが増したものであり不具合とは考えていない」と回答していました。

改良した角度が、会社が言うところの、車いすの大型化・重量化に対応するための耐久性からギリギリの角度なのかはわかりませんが、新型スロープが配備されて約1年半経ってようやく不具合部分が改善されました。

車いすのお客様の声「以前よりショックが和らいでいる」



実際に改良したスロープを利用された車いすのお客様からは「以前のスロープはショックがあったが、今回はショックが和らいでいる」と言われました。

改良されたスロープは、完全にフラットになっていません。耐久性の問題なども考慮して、車いすのお客様がスムーズにご利用出来るスロープを目指して取り組んでいきます。

